

## 気道異物除去法

～ 適切な処置の第一歩は、まず窒息に気がつくこと ～

- ・顔色が悪い
- ・声が出せない
- ・息ができない



### 窒息の可能性！

- ・強い咳をさせる
- ・喉が詰まったか尋ねる

### 窒息のサイン

気道閉塞のために呼吸ができないことを周りに伝える方法



◎ 窒息と判断した場合、大声で助けを呼び、119番通報を依頼。

※ 救助者が1人の場合、傷病者に反応がある間は異物除去法

### 反応がある場合 ～成人・小児～

#### 背部叩打法



力強く

※ 左右の肩甲骨の中間あたりを数回以上力強く叩く。

#### 腹部突き上げ法



※ 妊婦や高度肥満者には行わない！  
※ 内臓を痛める可能性があるため、実施後は、医師の診察を受けさせること！

すばやく手前上方向に向かって圧迫する

- ※ まず、背部叩打法を試みて、効果がなければ、腹部突き上げ法を試み、異物が除去できるか反応がなくなるまで続ける。
- ※ 対応がわからなければ、119番通報をすると通信指令員と通信指令員が行うべきことを指導してくれますので、落ち着いて指示に従ってください。

### 反応がある場合 ～乳児～

#### 背部叩打法



力強く数回連続してたたく

#### 胸部突き上げ法 (胸骨圧迫と同じ要領)



力強く数回連続して圧迫する

※ 背部叩打法と胸部突き上げ法を数回ずつ交互に行う

※ 乳児では、成人と異なり、腹部突き上げ法は行わない

### 反応がなくなった場合

～成人・小児・乳児 共通～

#### 心停止に対する心肺蘇生の手順を開始する

異物が見えた場合は、それを取り除く。

※ 見えない場合は、

- ・やみくもに口の中に指を入れて探らない
- ・異物を探すために胸骨圧迫を長く中断しない

## 止血法

### 直接圧迫止血法

出血部位を確認し、ガーゼやハンカチ、タオルなどを重ねて出血部位にあて、その上から圧迫して止血を試みる。



出血部位を確実に押さえることが重要

感染から身を守ろう

傷病者の血液に触れると感染症を起こす危険性があります。



ビニール袋などを手袋の代わりに使用